

(年間第31主日) 2021年10月31日 (教会)

現代・・愛されない ゆえに 孤独 寂しさ 痛みゆえ 病み傷ついている人がたくさんいます。

人がたくさん歩いていても 寂しさに とり残された人々をみます。

わたしたちの社会のなかに 「隣人」をさがし求めている人々の姿 を思いだします。

イエス様の十字架は 「隣人になった神の子」の姿です。

この「私たちの共通の家」の大地に立てられた イエスの十字架

十字架のイエスは 隣人を求める人々 と共に 生きる真の隣人 となった姿です。

イエスは 私たちに 言います。

「あわれみの心を持ってください 行って あなたも 隣人になってください」

さて シノドスはテーマ3 「声を出す(自分の考えをはっきり声に出す)」

すべての人は、勇気をもって、気兼ねなく 自由に、真実と、愛を持って話すよう招かれています。

① わたし(わたしたち)は自分の信仰をはっきりと表明していますか? 表明できていないとすれば、どうしてですか?

- ・信仰を口に出すような信仰体験がない・・自信がないです。
- ・それは 司牧者の役割です。
- ・信仰は言葉で表しにくく・・日々の生活において姿で現わします。
- ・人と違うことは言いたくありません。
- ・「宗教」は危険であるという思いが強く、信仰は特殊な人と思われています。
- ・日本の戦後教育は 神さま無しの人間中心の教育が貫かれています。
- ・ (

② 教会の中でも社会においても、勇気をもって、率直に、責任をもってはっきり述べる場や機会がありますか? ないとすれば、なぜでしょうか?

- ・教会では美しい話は交わされますが、本当のことは言えないのです。
- ・全て主任司祭の許可が無ければ、何もできないのが教会組織です。
- ・社会では、真理がどこにあるのか 基準がわからない社会です。
- ・ (

③ 福音宣教に役に立つ手段を積極的に利用していますか?

例: 印刷物、書籍、テレビ、ラジオ、SNS (Faec book//ツイッター・・)、インターネットなど。

- ・電波や、マスコミよりも人と人が出会う事が大切ではないでしょうか。
- ・人間として大切にしたい事柄や希望を育む「番組」を持続して流す
- ・ (

④ 福音宣教についてのアイデアはありませんか?

- ・日本は福音的な要素を大切にしていく傾向があります・・
- ・教会用語をもっと日本人の心に響くような言葉に置き換える必要・・。
- ・「福音マーケット」で気づいた「教会の宝」を形に表す
- ・教会施設(庭・ホール・)を広く開放する・・隣人・人間関係を創っていく・・
- ・ (